

亀倉雄策の足跡と デザインの明日

**参加者
募集**

(定員 150 名 / **入場無料**)

2015 年 6 月 29 日 (月) 18:00~19:30 (開場 17:30)

新潟日報メディアシップ 2 階 日報ホール (新潟市中央区万代 3-1-1)

日本グラフィックデザイン界の礎を築いた故亀倉雄策の生誕 100 年を迎え、7 月 11 日より新潟県立万代島美術館にて「生誕 100 年 亀倉雄策展」が開催されます。開催に先立ち、本トークセッションでは、日本を代表するグラフィックデザイナーの勝井三雄さん、葛西薫さん、大迫修三さんより、亀倉作品の魅力やメッセージ性、後進に与えた影響、そしてこれからの社会に期待されるデザインの力について、語っていただきます。



亀倉雄策 (1915-1997)

燕市(旧吉田町)に生まれる。1935 年新建築工芸学院でバウハウス流の構成理論を学ぶ。1937 年日本工房に入社し、対外宣伝誌「NIPPON」のアートディレクションを手がける。1951 年日本宣伝美術会の設立に参画。1955 年「グラフィック 55」展に出品。1960 年日本デザインセンター設立に参画するが、1962 年にフリーとなり、亀倉デザイン研究所を設立。1978 年日本グラフィックデザイナー協会の設立に参画、初代会長となる。1991 年グラフィックデザイン界で初の文化功労者となる。1997 年急性肺炎により逝去。

出演



勝井三雄さん (かつい みつお)

1931 年東京生まれ。東京教育大学卒業。1956 年味の素入社。1961 年フリー。グラフィックデザイン全般をはじめ、1970 年大阪万国博、1975 年沖縄海洋博、1985 年つくば科学博の AD、1990 年花博シンボルマークなど

を手がける。テクノロジーを使った表現を生かし新たなコミュニケーションの領域を拓く。武蔵野美術大学名誉教授。カメレオン・プロジェクト代表。東京 ADC 会員賞、毎日デザイン賞、講談社出版文化賞、勝見勝賞、芸術選奨文部大臣賞、亀倉雄策賞、NY ADC 金賞、ラハチ、ブルノ、メキシコ、ワルシャワ、各国ビエンナーレで金賞・グランプリなど受賞多数。紫綬褒章受章。JAGDA 理事。日本展示学会理事。東京 ADC、AGI 各会員。



葛西薫さん (かさい かおる)

1949 年北海道札幌市生まれ。1968 年文華印刷、1970 年大谷デザイン研究所を経て、1973 年サン・アド入社、現在に至る。サントリーウーロン茶 (1983 年～)、ユニテッドアローズ (1997 年～) などの長期にわたる広告制作、虎屋の CI・空間計画・パッケージデザインなどのほか、サントリー、サントリー美術館、六本木商店街振興組合の CI・サイン計画、映画・演劇の広告美術、装丁など、活動は多岐にわたる。主な受賞に、東京 ADC グランプリ、毎日デザイン賞、朝日広告賞、講談社出版文化賞ブックデザイン賞、日本宣伝賞山名文夫賞、亀倉雄策賞など。著書に『図録 葛西薫 1968』(ADP)。JAGDA、東京 ADC、東京 TDC、AGI 会員。



コーディネーター 大迫修三 (おおせこ のぶみつ)

1953 年東京生まれ。1976 年多摩美術大学グラフィックデザイン専攻卒業、リクルートに入社。クリエイションギャラリー G8 を 1985 年開設、以後退社する 2012 年 3 月まで、リクルートの運営するもう一つのギャラリー「ガーデン・ガーデン」の両会場をプロデュース。約 600 本の企画運営を手がける。『Creation』の刊行から亀倉雄策先生が亡くなるまで、リクルートにおける窓口を約 10 年間担当。現在、公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会 (JAGDA) 事務局長。ギャラリーの企画展で、2002 年『メセナ大賞育成賞』、04 年『グッドデザイン賞』。05 年『毎日デザイン賞特別賞』受賞。JAGDA 会員。

お申し込み

◇希望者全員の郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、下記へお申し込みください。

(はがき) 〒950-8535 新潟市中央区万代 3-1-1 新潟日報社企画事業部

(FAX) 025-385-7476 (裏面の申込書でもお申し込みできます)

(メール) design@niigata-nippo.co.jp

◇お問い合わせ 新潟日報社企画事業部

電話 025-385-7470 (平日 9:30~17:30)

※はがき、FAX は「629 トークセッション」係 と明記してください。

※応募者多数の場合は抽選。参加いただける方のみ、参加証を送ります。

※ご応募いただいた個人情報は、参加証の発送のみに使用いたします。

